
Eternal triangle～危険な三角関係～

怪盗フクロウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

E t e r n a l t r i a n g l e (危険な三角関係)

【Nコード】

N 3 7 8 3 B

【作者名】

怪盗フクロウ

【あらすじ】

S t o r y t h a t w r o t e g i r l ' s l i f e .
I c a n ' t L O V E

Signal of start (前書き)

売春当のはしたない言葉がでますので、あらかじめ御了承ください。

Signal of start

「ねえ、昨日のものまね紅白みた？」

「みたみた!!! 友近の小林幸子まじにてたよね（笑）てかさ、幸子EX……」

ぺちやくちゃ、ぺちやくちゃうるさいなー。

私は青田沙耶。

ごく普通の女子高生。だと思われてるはず（笑）。

成績は学年TOP。

運動は並以上。

顔は自分でいうのもおかしいけど、可愛いほうかな。

ただ、男にはまったく興味が無い。所詮男は体が目的。それを利用して私は売春をやっているんだ。いや、やっていたになるかな（笑）

『きくんくんかくんくん』

やっと帰れる……。さあ、早くかえろう♪

§第一話§

「ただいま」

「おかえり沙耶。テストどうだった？」

うるさいな。いちいち：

「もちろん、学年一だよ」

「よかったねこれから勉強頑張りなさいよ」

私は何も返事をせずに自分の部屋にもどった。いつも勉強勉強うるさい。

今日の予定はきまっている。正平と夜遊び。いや、正平に体を売る日だ。

正平とは売春している頃にであった。夜、ぶらぶら外を歩いたら正平から声をかけてきた。歳は同じくらい。はじめは、気晴らしに話していたが、私が売春をしていると聞いてから、正平は私に金を渡し、一夜を過ごすことが多くなった。私も、おじさんの相手をするよりかはマシなので売春はすっかりやめてしまった。

30分前か……そろそろ行くかな。

「沙耶、ちよつと降りてきて」

なによ：

「なにママ」

「今日からアメリカに出張なの。」

しってるっの：

「だから、夕食は勝手にたべて。買いどめしてたから（笑）一週間帰ってこないからね。」

「分かった。パパは？」

「明後日ぐらいに帰ってくるはずよ……！！」
かえってこなくていいのに……

「じゃあ、いってきます」

「いってらっしゃい。ママ」

さあ、準備しよつかな。整理用品と財布と携帯とバックしかもつていけないけど（笑）

「あ…シャワー浴びる時間勿体ないからさきに浴びていこかな♪」
そう思った私は、シャワーを浴びることにした。

30分後。

私はいそいできがえ、待ち合わせの所にむかった。

§第二話§

「おまたせ！！！またせてごめんね…」

ちよっとおそすぎたかな…

「俺も今きたところ。」

うそやん笑

「で、今日は何処行く？いきなりホテル？」

「いや、まずレストランでもいいかないか？」

いつもホテルでたべるのに…まあいつか。それより…

「なんか正平元気ないよ！！！！！！どうした？」

もしかして彼女できたのかな…：…そうだね、できてもおかしくないよね。てか、私にはかんけーないか♪

「あ、なんもないよ。ただ、お前と会ってかれこれ1年たつんだよなーとおもってさ」

そっか、もうそんなにたつのか。早いなー笑

「そうだね♪あれから正平としか寝てないし。そろそろ、また金稼ごうかな笑」

フフフ♪どんな反応するかな笑

「…：…おい、俺以外とは寝るなよ。やくそくしたろ」

わかってるわよ！！！！！冗談でいったのに…

「ごめん…」

一応謝っとう…

「いや…べつにいいけど（笑）ついたぞ」

「え…」 え、ここ？ここフランス料理店だよ！！！！高いよ！！！！！！

「いーから入るぞ」

「あっ、うん」

私払えないわよ！！！！！！

「金はおごるよ」

え…って、なんで私の心の言葉わかるのよ！！！！！！！！！！

「いらっしゃいませ。お二人ですか？」

「予約してた栗本だけど」

え、予約してたの…

「栗本様ですね。お待ちしております。こちらです」

「ねえ、正平。金本当にあるの!？」「ある。そのかわりホテルにはいかないぞ。」

え…いかないの!!! せっかくシャワー浴びてきたのに…
「こちらになります。ごゆっくりどうぞ。」

「ありがとう」

えー!!! なんか大人…

「いきなりだけどさ、実は、おまえに大事な話があるんだ…」
やっぱり…もう無理なのかな…

「沙耶、高校卒業したら、結婚してくれ。」

え…いきなり!!!! 付き合っていないのに!!!!!!

「まだ、付き合っていないのに…むりだよ…だから、」

「わかってる。沙耶、俺が音大めざしてるのしってるだろ」

しっている。正平はバンドを作って毎週土日に出たっている。はじめて会ったときも正平はバンドの演奏のかえりだったらしい。

「うん、それがどうしたの？」

「じつはなあ、お前をボーカルにしたいんだ。そして、結婚したいんだ」

「え…」

私がボーカル? 無理だよ!!! 確かに小さい頃から歌手になりた
いとおもってたけど…

「俺が書いた歌詞をうたってほしいんだよ!!!! おまえに」
そんなこといったって…

「今すぐは…返事できない…」

ごめん…正平…

「わかった……」

それから私たちは食べ終えて家にかえった。

§第三話§

それから一週間の月日が流れた。

私は、正平の言葉が信じれなかった……。

GROW（正平たちのバンド）は、基本的にリーダーの正平が歌っている。一応、CDもだしている。いきなり、私がボーカルになったりしたら、他のメンバーやファンが反対する……。そんなことはわかっている。でも、昔からの夢が叶うと思うと断りきれなかった……。

よし、決めた！……！！！！！！

もう一度、正平に会おう。会って詳しく聞かなきゃ。

プルルル、プルルル

「はい、正平です」

「あ、正平？ 沙耶やけど。今から会いたいんだけどいいかな？」

「あ、オレモ沙耶に会わせたい人たちがいるから、会いたかったんだ。今からすぐ、あの場所に来て……！！！！！！」

「わ、わかった。」

ツーツーツー

あっきた。

きがえようかな…

私は急いできがえて、ある場所、いわゆる【ライター】というバーに向かった。

カリーン、コローン

「いらっしやい。沙耶ちゃん。奥でおまちだよ。」

「ありがとうマスター」

優しいマスター。。。。

「お待たせ……！！！！！！ あっ……」

「やっと来たわ#」

なっ 菜々子さん!!!

「まあ、そういうなって。菜々子」

てか、なんで、GROWのメンバーがいるのよ……

「まあ、ここ座れよ、沙耶」

「じゃあ、まずはメンバー紹介するか」

えっ

「待って、まだ私、返事してないよ!!!」

「ここにきたってことは、いいんだろ。決心したんだろ」

いや、まだ考え中なんだけど…

「いや、だからまだ…」

ごめん…

「……そっか。」

ほんとにごめん…

「まあ、とりあえずメンバー紹介するよ。まず右のグラサンかけてる奴が、ドラムのジロー」

「よろしく。沙耶さん」

「あっはい。よろしくおねがいます。」

なんか、もうメンバーになってる…

「で、目付きが恐いこの女がピアノorギターの菜々子」

「目付きが悪くて悪かったね#」

「まあ、そうおこるな(笑)で、髪がホワイトでベースのタツミ」

「おじょうちゃんよろしく!!!」

「あっはい。」

「で、おれはギターのショウヘイ。」

ショウヘイは紹介しなくてもわかるよ。

「次は、沙耶の紹介だよ」

「あっうん。」

私は、簡単に自己紹介をした。なんか、ショウヘイと付き合っていることを言った瞬間、菜々子さんに、睨まれたような……気のせいか？

こうして、私たちはいろんな話をして、いえにかえっていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3783b/>

Eternal triangle～危険な三角関係～

2010年10月31日05時01分発行